

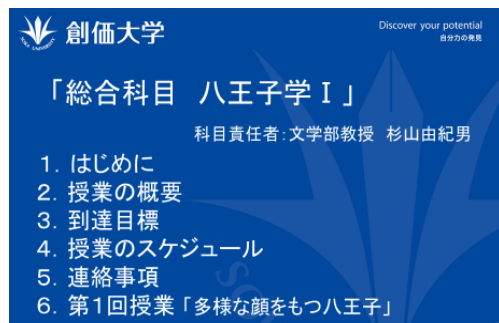
事業名：八王子学Ⅰ（共通科目；世界市民教育科目）

1. 事業（授業）の目的

「八王子学」はもともと、八王子にある大学に通っているのに八王子のことを知らないのはもったいないという単純な発想で2010年4月にスタートしました。その後八王子以外の多摩地域の方々からも広くご協力をいただく中で、目的と意義を明確にし、その目的にかなう事業にしていくことを目指して現在に至っています。その目的は「八王子の過去、現在、未来について知ることを通し、また八王子や多摩地域で活躍している各分野の専門家から学ぶことによって、身近な地域社会を知ることの大切さを認識し、在学中だけでなく、卒業後も自分の暮らす地域社会（海外も含む）をよりよく理解し、貢献していく意識と態度を養うこと」です。

2. 授業の概要

おもに八王子市に関連する各分野で活躍する著名な外部講師や市職員を招聘して、60分～70分程度の講義を行ってもらいます。その後、質疑応答やディスカッションをとおして、自分の暮らしてきた町や住んでいる地域との比較をしたり、地域を知ることの意義と重要性などを学びます。授業の



創価大学 Discover your potential
自らの光輝

「総合科目 八王子学Ⅰ」
科目責任者：文学部教授 杉山由紀男

1. はじめに
2. 授業の概要
3. 到達目標
4. 授業のスケジュール
5. 連絡事項
6. 第1回授業「多様な顔をもつ八王子」

到達目標として4点を掲げています。

①授業で取り上げられる八王子の具体的な場所・施設（道の駅、郷土資料館、滝山城址など・・・）を3箇所以上訪れ、八王子をできるだけ実感で理解すること。

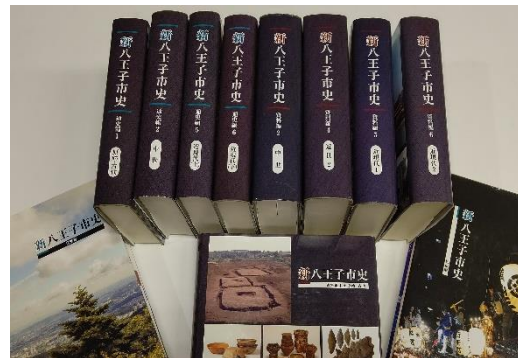
②八王子の地域の特色と魅力を、両親や友人に向かって具体的に語ることができる。

③身近な地域社会について知ることの意義を、他者に向かって明瞭に論じ述べるができる。

④地域の特色を踏まえて、地域や社会に貢献しようとする態度を身につけること。

本学の科目区分としては、学部学年に関係なくすべての学生が受講できる「共通科目」です。八王子学園都市大学（いちょうウ塾）の公開科目にもなっています。

スタート以来、履修者年々増加し、2019年度は270名でした。なお、2019年度より「八王子学Ⅱ」がスタートし、科目名が「八王子学Ⅰ」となりました。2019年度



の授業内容（テーマ）の主なものは以下のとおりです。

『新八王子市史』

○「八王子の歴史を知ろう！」

八王子市立郷土資料館学芸員 小林 央氏

○「社会貢献と生涯教育」

八王子市生涯学習センター 高橋寿美男氏

○「みんなの幸せを紡ぐ町八王子」をめざして
八王子市経営計画課

事業名：八王子学Ⅰ（共通科目；世界市民教育科目）

○「八王子のグローバル化のために－多文化共栄の実践から－」

株式会社夢道s 代表取締役 石田 光氏

○「男女共同参画入門」

八王子市男女共同参画課

○「道の駅八王子滝山」

道の駅八王子滝山名誉駅長 芥川麻実子氏

○「地域の活性化へ－若者の自立・就労支援の取り組み－」

認定NPO法人「育て上げ」ネット

執行役員 山本賢司氏

○「多摩地域の課題に対するたましんの取組」

多摩信用金庫価値創造事業部 三島雄介氏

○「会社という組織とはたらくということ」
サイバーシルクロード八王子会長

古瀬智之氏

○「ソーシャルビジネスの可能性」

株式会社 MNH 取締役社長 小澤 尚弘氏

○「子どもたちとつくる八王子のまち」

八王子市立中野児童館館長 井垣利朗氏



東京都で唯一の道の駅八王子滝山

3. 受講者の感想

授業を受けての受講者の感想を若干紹介します。

・毎回違う先生がいらっしゃり、専門の方だからこそ分かる知識を聞くことが出来、とても嬉しかったです。

・自分で気づけなかった八王子の良さが授業を通して学べたのでとてもよかったです。

・この授業を取る前までは知らなかった八王子に関するいろいろな情報や歴史、取り組み等を学びました。

・八王子に関する地域の取り組みや、経済的な学びまで行うことが出来た

・八王子や社会についての知識が大幅に増えて、非常にためになる講義ばかりだった。

・八王子のことを詳しく知れて楽しかったです。観光地なども紹介があったので行ってみたいと思いました。

・自分の住む八王子という身近な地域について知れて本当によかった！

・先生方から八王子に対する愛が伝わってきた。

反応は概して良好でした。ただ、課題も幾つかあります。

4. 今後に向けて

今後に向けた課題を幾つか挙げます。

①授業で取り上げられた場所に3箇所以上訪れるという授業の到達目標の1つはまだまだ達成されていないようです。忙しい学業生活の中でも訪れてもらえるような積極的な案内やサポートを考えていく必要があります。

②単に八王子を知ることだけでなく、地域や社会に貢献する意識と態度を養うことがこの授業の目的ですが、授業内容を含め、その点の工夫をさらに必要です。本学の学生はそうした意識が大変旺盛ですが、それが実際の取り組みに結びつくためには、具体的なきっかけが重要になります。その点の情報提供もできる授業にしていく必要があります。

事業名：八王子学Ⅰ（共通科目；世界市民教育科目）